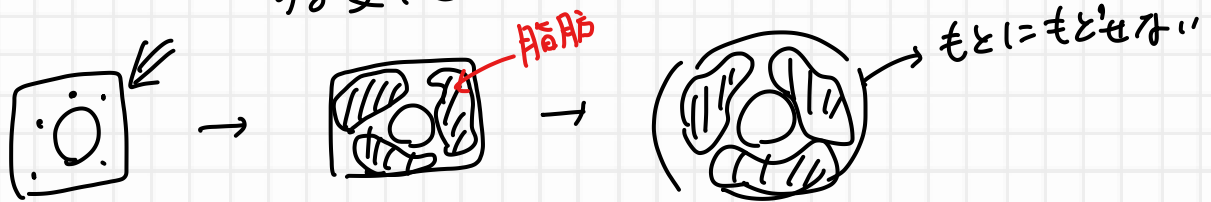


(5) 病理学の重要ポイント

★ 退行性変化 ... 細胞や組織に発生した変化が
もとにもとせぬ

① 変性 ... 細胞内に異常な物質が出現したり貯留したりする変化



⇒ 顆粒変性, 空胞変性, 水腫変性, 硝子変性, 硝子滴変性, ファブリノイド変性, 角質変性, 粘液変性, 脂肪変性

肝臓で起りやすい

脂肪肝

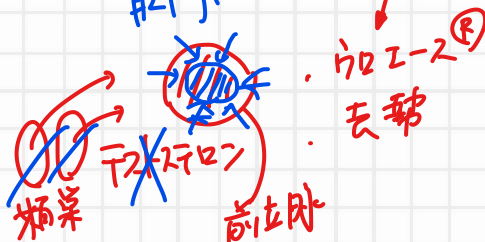
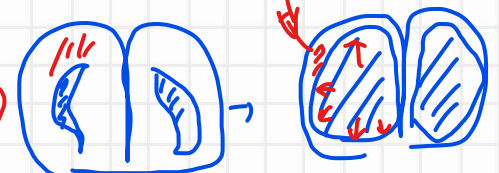
② 萎縮 ... 正常に発生した器官や組織において、細胞数や

細胞容積が減少すること
⇒ 生理的, 栄養障害性, 神経性, 圧迫性

不使用性, 協定性, 貧血性 など



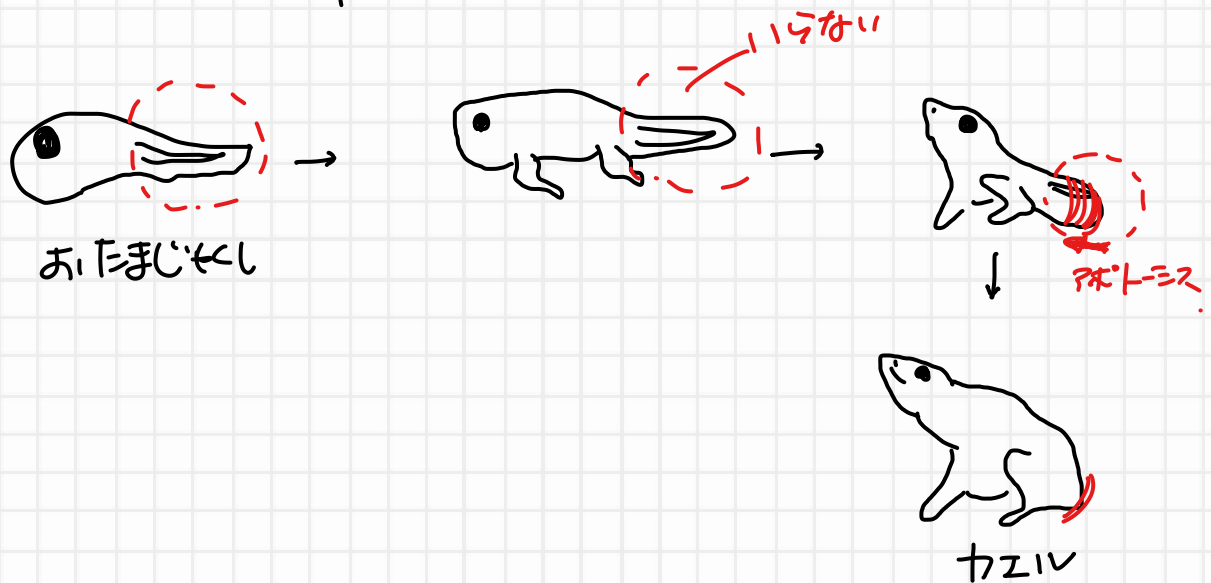
↑
(不) 中年高齢
転移
⇒ 精巣腫瘍, 会陰ヘルニア
肛門周囲腺腫, 前立腺肥大



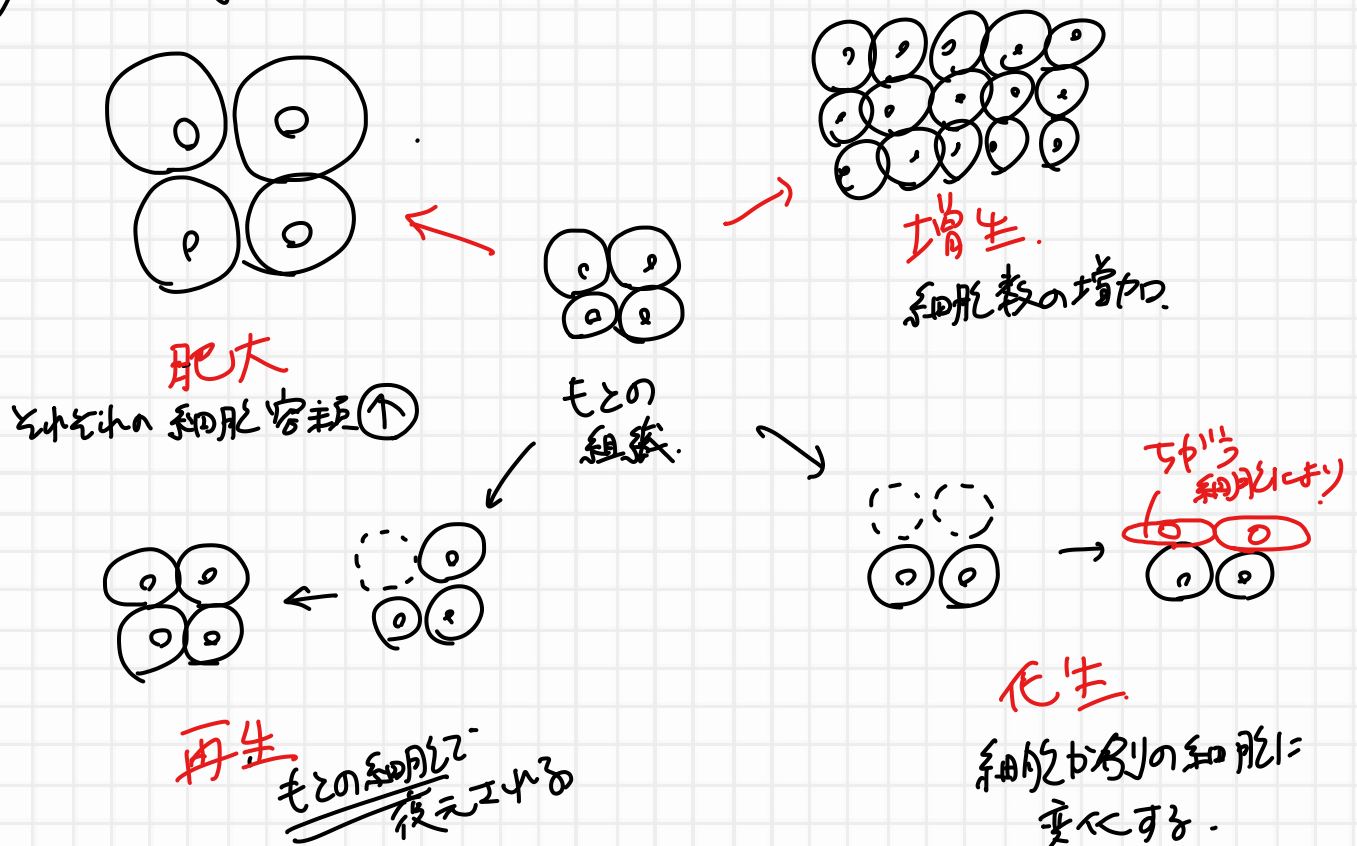
③ 壊死 (ネクロシス) ... 病的な細胞死
↳ 細胞質の膨化・破裂、炎症が起こる!!

⇒ 凝固壊死 (↑ 昇) , 液化 (融解) 壊死
↑ 脳や脊髄
↓ 「脳軟化」

④ アポトシス ... 生理的 にプログラムされた細胞死
↳ 細胞が断片化、炎症は起らない!



★ 進行性変化 ... もとにもどせよ変化



★ 炎症の5大徴候

発赤, 発熱, 疼痛, 腫脹,
機能障害

(6) 悪性腫瘍

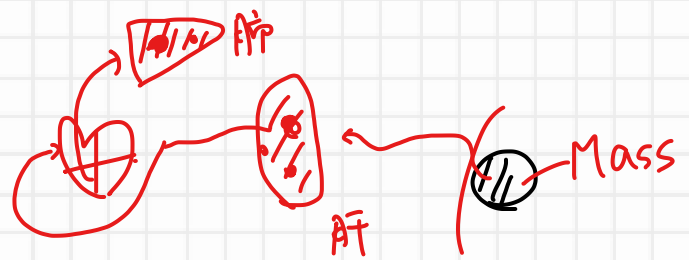
← 腫瘍, 分岐性

	上皮系	非上皮系
良性	○○ 腫	○○ 腫
悪性	○○ 癌	○○ 肉腫

(例外) ・リンパ腫
(リンパ肉腫, 悪性リンパ腫)
・Xラーマ
↳ 悪性黒色腫

★悪性腫瘍の特徴

- ・組織浸潤性
- ・局所再発
- ・遠隔転移 → 肺, 肝臓 など
- ・細胞分裂が速い



など